

顔の見える木材での快適空間づくり事業

【テーマ】西川材を利用した木育空間のデザイン開発とその設計者養成プロジェクト

背景と目的

【課題意識】

- ・木育の普及により、木育空間、木育ツールのニーズが高まっている。
- ・多様な保育ニーズに的確に対応できる建築士、デザイナーは少ない。

【目的】

- ・アクティブラーニング型(対話・体験中心)の研修会を実施し、木材・保育の精通した質の高い空間デザイナーを養成、ネットワーク化を図る。

対象とするA材丸太を原材料とする付加価値の高い木材製品

○保育ニーズに応え、保育を支える木育空間とそのデザイン

- ・西川材(スギ・ヒノキ)を活用した壁、床製品
- ・小規模保育施設向けの家具など

○保育ニーズに応える木育ツールとそのデザイン

- ・玩具、遊具(大型積み木、室内ジャングルジム)
- ・屋外用遊具(屋外遊具、玩具など)



写真・図等



事業実施主体

NPO法人木づかい子育てネットワーク
株式会社サカモト

実施体制・連携グループ

- 連携団体(研修会の企画、実施、講師)
 - ・アトリエフルカワー級建築事務所(古川泰司氏)
 - ・酒井産業株式会社(代表取締役 酒井慶太郎氏)
- 協力団体(講師、受講者募集・広報への協力)
 - ・都道府県木材協会、建築士会
 - ・飯能市森林認証協議会
 - ・NPO法人もあなキッズ自然楽校(関山隆一氏)



事業内容(利用拡大に向けた具体的な実施項目)

1 『木育空間』づくりのためのアクティブラーニング型研修会の開催

1) ビギナー編

木育を理解し、保育ニーズに対応できるデザイナーの養成

- ① 保育理解のための講義(オンラインを含む)
- ② 保育所等の視察、見学会(オンライン見学会の可能性あり)
- ③ 体験型ワークショップの開催

2) アドバンス編

- ① 保育ニーズに対応するデザイン講義
- ② 保育者との対話、ディスカッション
- ③ 保育デザインと試作

2 製品の試作と改善

① 参加者によるデザイン案の検討と試作

- A: 製品開発アプローチ(ビギナー編/デザインアイデアまで)
- B: 製品改良及び開発アプローチ(アドバンス編)

3 報告書の作成

4 検討委員会の開催と事業成果の検討会開催

スケジュール

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

事業検討会
議

参加者
募集

参加者
確定

研修会実施

試作

成果
発表会

報告書
作成